


第51号 平成27年12月1日発行 (偶数月発行/年6回)

【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

七色花


島根県高齢者施設見学・交流会

9月30日(水)島根県の帰国者を対象に高齢者施設見学・交流会を開催しました。見学先は出雲市にある特別養護老人ホーム「みせんの里」で、開所10年の大きな施設でした。参加者たちは施設担当者に質問しながら見学でき、「施設で実際、どのような介護を行っているのかわからなかったのが、見学を通して生活の様子がよくわかり、貴重な一日になった」という感想が寄せられました。




広島県企業見学・交流会

10月7日(水)広島県の帰国者を対象に企業見学・交流会を開催しました。岡山市のカバヤ食品というお菓子工場でキャンディの製造工程を見学しました。参加者たちは製品が包装されていくラインをガラス越しに見学することができ、高速で動く機械に驚いたり、感心したりしていました。また、食品の歴史についての展示物や玩具菓子に付いているおもちゃの展示もあり、楽しく見学することができました。




広島県相談説明会

10月11日(日)広島県の廿日市市市民活動グループ「ええじゃん」が主催する疑似体験会に広島県の帰国者が参加しました。交通事故の寸劇を見た後、交通事故班と避難所班に分かれ、グループワークを行いました。帰国者たちは日本語を使う良い機会になったと同時に、言葉が通じない場合の意思疎通を考える良いきっかけとなりました。




山口県社会見学会

10月24日(土)山口県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。広島市のガラスの里ではマドラー作りを体験しました。また、安佐動物公園では車いすを借りることができたので、足が不自由な参加者も広い園内を楽に散歩することができました。下関市の帰国者が6年ぶりに参加され、同じ県内に住んでいても日頃会う機会のない帰国者たちはこれを機に交流を深めることができました。




高知県相談説明会・健康増進交流会

10月30日(金)高知県の帰国者を対象に相談説明会・健康増進交流会を開催しました。午前は「認知症サポーター養成講座」を行いました。講師が実例をあげながら分かりやすく説明してくださり、認知症と物忘れの違いを知らなかった参加者から「認知症の正しい知識や認知症患者への正しい接し方について大変勉強になった」との声が寄せられました。午後は「笑いヨガ体験会」を行いました。当センターとしては初めての試みでしたが、参加者たちは積極的に取り組み、しっかり笑い、楽しい時間を過ごしました。




香川県・徳島県社会見学会

11月7日(土)香川県と徳島県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。兵庫県の書写の里で姫路名産のこまの絵付け体験をしました。その後、姫路城をパルクに写真を撮ったり、水族館を見学したりしました。香川のある帰国者が体調を崩されて以来、数年ぶりに参加され、元気な顔を見ることができ安心しました。



国際交流・協力の日2015

11月15日(日)広島市で国際交流・協力の日が開催され、当センターも参加しました。ブースには中国帰国者に関するパネルや写真を展示し、中国結び体験コーナーを設けました。今年で4回目の中国結びは毎年好評で、指導者として協力して下さる帰国者1世も手慣れた様子で来場者に対応していました。来場者は用意していた250人分の材料が終了時刻の1時間前には無くなってしまふほどの多さでした。



高知県にお住いの笑原範子さんからFAXをいただきました。

投稿

収穫の秋を迎えた10月30日、健康講座が開催され認知症予防などについて勉強した。研修を通して、認知症を引き起こす原因や認知症自体ひとつの病気だということを知った。認知症に罹ってしまうと、本人の心身に大きな障害をもたらす他、家族や周囲の人にも影響を及ぼす。そのため、早期発見・早期治療はとても大事だ。研修に参加することで、認知症への理解が深まっただけでなく、認知症患者への正しい接し方も勉強できた。

午後は、「笑いヨガ」というユニークな授業を受けた。先生の指導により、笑うことは健康促進になると再認識した。私たちはお腹を抱えるほど大笑いして体を動かした。先生の響き渡る笑い声につられ、みんなも段々大笑いになっていった。笑いはストレス解消だけでなく、免疫力も高める。笑った後、私の目まいという持病も半分治ったように感じた。先生に大変感謝している。活動の最中、先生は私たちの笑い方を中国語で「上出来、上出来(タイバンラ)」と褒めてくれたが、発音の間違いにより「太りすぎ、太りすぎ(タイバンラ)」となってしまう、さらにみんなの笑いを誘った。その後、通訳の説明で、先生はやっと理解してくれた。しかし、その後もお互いに「太りすぎ、太りすぎ」と言い続け、笑いが止まらなかった。笑いの中で素敵な一日を過ごすことができた。

12月・1月の予定

12月3日	ボランティア研修会	【広島県】	12月21日	健康増進交流会	【広島県】
12月11日	相談説明会・健康増進交流会	【岡山県】	1月19日	高齢者施設見学・交流会	【香川県】
12月14日~15日	社会見学会	【中四国】			

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を書いてみませんか? みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありませ〜、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

朝の布団から出るのがつらい季節になりました。千年前の日本の古典「枕草子」に『冬はつとめて(冬は早朝に趣がある)』とあるように、平安朝の貴人は冷え込む朝にも風雅を感じる繊細な感性の持ち主でした。冷暖房完備の快適な生活に慣れ、少しの不便にも不平不満が口をついてしまう現代の私たちですが、寒い朝にも風情を楽しめる心のゆとりを持ちたいものです。くれぐれも風邪をひかないように気をつけながら。(光井)

第51号 平成27年12月1日 发行
(偶数月发行/年6回)

【发行处】
中国·四国中国归国者支援·交流中心
社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会
〒732-0816 广岛市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

岛根县老人院观摩·交流会

9月30日(周三)以岛根县归国者为对象举办了老人院观摩·交流会。这次和大家参观了位于出云市的特别养护老人院「弥山之中」。这个开设已经有10年的设施不仅清洁整齐,而且宽敞明亮。参加者还借着这次参观学习的机会向设施的职员提出了质询。会后,大家反应道「以前不知道在设施内可以接受什么样的服务,通过观摩看到了实际生活状况,真是一次宝贵的学习机会」。



广岛县企业观摩·交流会

10月7日(周三)以广岛县归国者为对象举办了企业观摩·交流会。这次观摩了冈山市内以生产点心糖果为主的河马屋食品公司。在观摩专用通道,大家隔着玻璃参观了糖果包装的生产流水线,准确无误、高速运作的机械令参加者感叹不已。此外,还观摩了工厂生产的食品发展史以及小点心上所附带的小玩具等各种展品。和大家一起度过了欢愉充实的一天。



广岛县咨询说明会

10月11日(周日)和广岛县的归国者一起参加了由广岛县廿日市市民活动团体「ええじゃん」主办的交通事故模拟体验。在观看了由主办者进行的交通事故模拟短剧后,参加者分别加入到交通事故组和避难所组,进行了讨论。借此增加了归国者的日语练习机会,并同时创造了周围人群共同来考虑如何应对语言不同的契机。



山口县社会观摩会

10月24日(周六)以山口县归国者为对象举办了社会观摩会。首先,在广岛市内的玻璃之乡学做了玻璃搅拌棒。之后,参观了安佐动物园。通过借用公园的轮椅让腿脚不便的归国者也能够安心的浏览园内景色。下关的归国者时隔6年参加了中心的活动,和其他久违不见的归国者共享了再相逢的喜悦,加深了彼此间的交流。



高知县咨询说明会·促进健康交流会

10月30日(周五)以高知县归国者为对象举办了咨询说明会·促进健康交流会。上午举办了以「认知症支援者培训讲座」为内容的说明会。老师借着丰富的工作经验,举出各种实例,浅显易懂向大家介绍了认知症和健忘的区别等知识。会后大家反应「通过讲座学习了认知症的基础知识,并对如何应对认知症有了正确的认识」。下午,以促进健康为目的进行了「大笑瑜伽体验讲座」。不仅仅是参加者,中心也是初次尝试这项活动。大家欢愉的参加情形给人留下深刻的印象。



香川县·德岛县社会观摩会

11月7日(周六)以香川县和德岛县归国者为对象举办了社会观摩会。大家远涉兵库,在书写之乡参加了姬路陀螺的手绘体验。中午,以姬路城为背景进行了摄影留念。下午,一起参观了姬路水族馆。有位香川县归国者这几年因为身体状态不佳,一直没能参加中心活动,这次也特意赶来参加了本次活动,久违不见的相逢不但让人安心还温暖人心。



国际交流·协力日2015



11月15日(周日)中心参加了由广岛市举办的国际交流·协力日活动。在展示角展示了介绍中国归国者的各式图片和照片,还开设了中国特色体验角。做为例行活动,中心这已经是第4次参加,每年学做中国结活动都大受好评。做为老师请来的各位归国者也都轻车熟路向各位来宾传授了中国结的做法。一天的到场者可以说是川流不息,准备的250份材料在离活动结束时间还有1个小时前就发放完了。

投稿

本次投稿来自高知县的归国者笑原范子女士。

秋天,是丰收的大好季节。在此,中国·四国中国归国者支援·交流中心在10月30日,为我们高知县归国者举办了一次健康讲座,学习了怎样预防认知症等内容。通过这次讲座使我们了解了认知症的发病原因,并认识到了这是一种疾病。如果患了认知症不但会给自己造成极大的身心障碍,还会影响到家人和周围的人。所以及早发现就有可能得到及早治疗。通过学习,不仅提高了大家对认知症的理解,还掌握了对认知症患者的正确对应方式,让我们认识到如何宽怀的对待认知症患者本人及其家里人。

下午,我们一起上了一堂别有生趣的大笑瑜伽课。在老师的指导下,使我深深的认识到笑可以增进身体健康。之后在老师的带动下,我们在捧腹大笑中活动了身体。老师洪亮的笑声牵动了大家,渐渐每个人都开始大笑起来。通过大笑不但可以解除烦恼,还可以增强免疫力,我头晕的老毛病也几乎好了一半,为此非常感谢老师给我的收获。在活动中,老师表扬我们笑得「太棒了、太棒了」,可是由于老师的发音不准,说成了「太胖了、太胖了」,引发大家又不禁捧腹大笑。经过翻译的解释,老师才理解了其意。之后大家和老师一边说着「太胖了、太胖了」,一边举手大笑,在一片欢声笑语中结束了一天的活动。

12月·1月预定

12月3日 支援者研修会 (广岛县)	12月21日 促进健康交流会 (广岛县)
12月11日 咨询说明会·促进健康交流会 (冈山县)	1月19日 老人院观摩·交流会 (香川县)
12月14日~15日 社会观摩会 (中四国)	

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此,向大家征集投稿,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿字数限400字以内,投稿可以直接拿到中心来,邮送、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

又到晨起不愿离开被窝的季节了。撰写于一千年多年前的日本古典文学「枕草子」,对冬季有着这样的描述「冬日晨早有情趣」。想必富有细腻感受性的平安时代的显贵们,即使在骤冷的早朝也能感受到其中的风雅。生活在冷暖气设备齐全的现代社会的我们,对稍许的不便都会发出牢骚,我们是否也应该多少持有一些能够感受寒冷早朝情趣的余裕呢?当然首先希望大家千万不要感冒啊。(光井)